

SYLLABUS

2024



別府市医師会立別府青山看護学校

3年課程

専門分野 授業計画

専門分野は、基礎看護学、地域・在宅看護論、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、看護の統合と実践、看護学領域別の臨地実習を基本の領域とし、それぞれに科目を設定しています。また、各領域と密接な関係をもつ7つの領域横断科目を設定しています。総計53科目（66単位）で構成しています。

基礎看護学は、総計9科目（11単位）で構成し、看護の基礎的理論や安全で安楽な看護を提供するための基本的看護技術、看護の展開方法を学びます。また、専門基礎分野の知識を活用して科学的根拠に基づいた看護実践を導くために、患者を想定したシミュレーション演習を多く取り入れながら、気づきを看護専門職の臨床判断につなげるための授業を展開していきます。

地域・在宅看護論は、総計5科目（5単位）で構成し、地域で生活する人々とその家族を理解し、地域における様々な場で多職種と連携・協働しながら看護を実践するための能力を養うための基礎を学び、実習は地域に暮らす人々の様々な活動の場、生活の場で展開します。少子・高齢社会の進展とともに需給が増している看護師の役割が期待される分野です。

成人看護学5科目（5単位）、老年看護学3科目（3単位）、小児看護学3科目（3単位）は、発達段階別の看護に加え治療が必要な人々に対する看護を健康段階別に学ぶ領域です。講義をとおして成長発達を理解し、様々な発達段階・健康状態にある人々に対する看護の方法を学び、実習をとおして看護実践能力につなぎます。さらに、実習をとおしては、安心・安全を保障する援助の実践を積み重ねます。

母性看護学3科目（3単位）では、女性のライフサイクルの健康に対応する能力を養います。また、実習ではマタニティサイクル期にある母子とその家族を総合的に理解し人間の生命の誕生と尊厳について考え、人間をかけがえない存在として理解していくための過程をたどります。

精神看護学3科目（3単位）では、精神機能に対応する能力を養うための知識を深めます。実習をとおしては、対象との関係を丁寧に振り返り、自分自身の行動が対象に与える影響について深く考え自分の傾向を見つめていきます。これらの過程をとおして援助的人間関係や治療的コミュニケーションについて学びを深めていきます。

看護の統合と実践は3科目（3単位）で構成し、医療安全をはじめチーム医療における看護マネジメントや多職種と連携・協働するための基礎的知識と実践力を身につけます。いよいよ看護師として活躍する直前の重要な科目です。

また、各看護学において共通する7科目（7単位）の領域横断科目を設定し、包括的、継続的な看護を展開するための知識を身につけます。領域横断科目は、看護師独自の専門性をもつ判断力や多職種と連携・協働する力を身につけるために欠かせない科目となります。

各看護学領域の臨地実習は総計12科目（23単位）で構成し、講義で学んだ知識・技術・態度を実践の場で活かし理論と実践を結びつけます。看護の対象を前に展開する実習は看護師としても、人としても成長できる貴重なものとなります。

実習をとおして理論と実践を統合した後に履修する地域・在宅看護論Ⅳでは、事例をとおして人々が住み慣れた地域で暮らすための多職種と連携・協働にある支援についてまとめます。同じく、看護実践演習では複雑な状況下での看護場面を想定した演習をとおして看護実践力に導き、3年間の学びをまとめ看護師国家試験に臨みます。

専門分野を構成する領域

基礎看護学
領域横断
地域・在宅看護論
成人看護学
老年看護学
小児看護学
母性看護学
精神看護学
看護の統合と実践
臨地実習

成人看護学

科目区分	専門分野	科目名	成人看護学概論	単 位	1 単位
対象学年	1 学年	学 期	後期	時 間	15 時間
担当教員	小林 恭子	実務経験 関連資格	病院における看護師経験 別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目 的	成人期は幅広く、人口層が厚く、社会の中でも重要な役割を担っている人々である。そのため、この時期の人々の健康問題を扱う成人看護学は重要な位置を占めている。本科目では、成人看護学の基本的な理解と、成人期にある人々の健康と看護援助について、看護モデルや看護理論を用いて理解する。				
目 標					DP への対応
	1. 成人期にある対象を成長、成熟、発達の視点から、その特性を理解する。 2. 成人期における健康問題と健康の維持増進のための保健活動について理解する。 3. 成人期における看護アプローチの基本について理解する。				DP 2 DP 3 DP 4 DP 6
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準備学習
第 1 回 第 2 回 〔講義〕	到達目標	1. 社会において生活を営む生活者としての成人を理解する。 2. 成人各期に心身ともに成長・成熟する過程について理解する。		テキスト P 4～40 P 44～50	
	授業予定	1. 成人各期の発達段階の特徴について説明する。 ・身体的・心理・社会的特徴と発達課題 ・成人各期の保健問題 2. 成人期の対象の生活と環境について考える。 ・経済 ・家族の形態 ・ライフスタイルや働き方		国民衛生の動向	
第 3 回 第 4 回 第 5 回 〔グループ ワーク〕	到達目標	成人期における健康問題と健康の維持増進のための保健活動について理解する。		テキスト P56～84	国民衛生の動向
	授業予定	1. 健康バランスに影響を及ぼす要因について説明する ・7つの健康習慣 ・ライフスタイルと健康問題 ・ストレスと健康生活 ・悪性新生物 2. 生活行動がもたらす健康問題とその予防について説明する ・就業・労働形態の変化がもたらす健康問題 ・生活習慣がもたらす健康問題 ・感染症 ・引きこもり、うつ病、ネット依存などの新たな健康問題 3. 成人の保健にかかわる対策について説明する 特定健康診査・特定保健指導 健康日本 21 健康増進法		P180～196 P175～178	
第 6 回 〔講義〕 第 7 回 〔グループ ワーク〕	到達目標	成人への看護アプローチの基本を理解する。		テキスト P 92～103	
	授業予定	1. 大人の健康行動のとらえ方について説明する アンドラゴジー エンパワメント アドヒアランス 2. 自己管理のための教育モデルを説明する。 行動変容ステージモデル 自己効力感 3. 健康問題を持つ大人と看護師の人間関係について考える。			
第 8 回	まとめ 終講試験(50分)				
成績評価の基準と方法		終講試験(筆記試験 80 点・課題 20 点) 100% 60%以下は再試験とする。			
使用教材	テキスト	系統看護学講座 『成人看護学総論』(医学書院)			
	参考図書	国民衛生の動向			
	その他				
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおくこと。			
履修上の留意点					

科目区分	専門分野	科目名	成人看護方法論 I	単 位	1 単位
対象学年	2 学年	学 期	前期	時 間	30 時間
担当教員	①小野 直美 ②木原 康洋 ③秋吉 美希 ④日野 博之	実務経験 関連資格	①国立病院機構西別府病院 看護師・慢性呼吸器疾患看護認定看護師 ②国立病院機構別府医療センター 看護師 ③国立病院機構別府医療センター 看護師 ④清瀬病院 看護師・透析看護認定看護師		
目的	呼吸器疾患、循環器疾患、腎・泌尿器疾患の様々な機能障害が、日常生活に及ぼす影響を理解し、各機能障害を持つ患者の看護を実践できる基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。				
目 標	1. 主な症状とその看護について理解する。 2. 主な検査と治療を受ける患者の看護について理解する。 3. 機能障害をもちながら生活する人の看護について理解する。				DP への対応 DP2 DP3 DP4 DP6
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準 備 学 習
第 1 回 〔講義〕 (小野)	到達目標	呼吸器疾患看護における看護師の役割を理解する。		テキスト① 配布資料 パワーポイント	教科書の指定部分 を 事 前 に 読 ん で お く こと。 講義内容を必ず復 習しておくこと。
	授業予定	ガイダンス 呼吸器疾患を持つ患者の経過と看護について説明する。			
第 2 回 〔講義〕 (小野)	到達目標	主な呼吸器症状における看護について理解する。		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業内容	様々な症状に対する看護を説明する。 (咳嗽・喀痰 血痰・咯血 胸痛 呼吸困難)			
第 3 回 〔講義〕 (小野)	到達目標	呼吸器疾患における様々な検査や治療時の看護を理解する。		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	検査・治療を受ける患者の看護を説明する。 検査：内視鏡検査 肺組織の生検 治療：吸入療法 酸素療法 人工呼吸器装着 気管切開 胸腔ドレナージ 手術療法			
第 4 回 〔講義〕 (小野)	到達目標	主な呼吸器疾患の看護について理解する。		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	呼吸器疾患を持つ患者の看護を説明する。 肺炎 結核 気管支喘息 COPD 肺血栓塞栓症			
第 5 回 〔講義〕 (小野)	到達目標	主な呼吸器疾患の看護について理解する。		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	呼吸器疾患を持つ患者の看護を説明する。 急性呼吸窮迫症候群 睡眠時無呼吸症候群 肺がん 自然気胸			
第 6 回 〔講義〕 (木原)	到達目標	循環器疾患看護における看護師の役割を理解する。		テキスト② 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	ガイダンス 循環器疾患を持つ患者の経過と看護について説明する。			
第 7 回 〔講義〕 (木原)	到達目標	主な循環器症状における看護について理解する。		テキスト② 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	様々な症状に対する看護を説明する。 (胸痛 動悸 浮腫 呼吸困難 チアノーゼ 失神 四肢の疼痛)			
第 8 回 〔講義〕 (木原)	到達目標	さまざまな検査や治療時の看護を理解する。		テキスト② 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	検査・治療を受ける患者の看護 検査：心臓カテーテル法 心電図検査 運動負荷試験 血行動態モニタリング 動脈血ガス分析 画像診断 治療：薬物療法 カテーテル治療 手術療法 補助循環装置の装着			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	主な循環器疾患の看護について理解する。		テキスト② 配布資料	
	授業予定	循環器疾患を持つ患者の看護について説明する。			

(木原)		(虚血性心疾患 心不全 血圧異常 不整脈 弁膜症)	パワーポイント	
第 10 回 〔講義〕 (木原)	到達目標	主な循環器疾患の看護について理解する。	テキスト②	
	授業予定	循環器疾患を持つ患者の看護について説明する。 (心筋症 先天性心疾患 動脈系疾患 静脈性疾 心臓リハビリテーション)	配布資料 パワーポイント	
第 11 回 〔講義〕 (秋好)	到達目標	腎・泌尿器疾患看護における看護師の役割を理解する。	テキスト③	
	授業予定	ガイダンス 腎・泌尿器疾患を持つ患者の経過と看護について説明する。	配布資料 パワーポイント	
第 12 回 〔講義〕 (秋好)	到達目標	主な症状における看護について理解する。 検査を受ける患者の看護について理解する。	テキスト③	
	授業予定	主な症状について説明する。 (浮腫 高血圧 下部尿路症状 尿の性状異常 検査：尿検査 残尿測定検査 膀胱鏡検査 画像検査生検 尿流動態検査)	配布資料 パワーポイント	
第 13 回 〔講義〕 (日野)	到達目標	内科的治療を受ける患者の看護について理解する。	テキスト③	
	授業予定	内科的治療を受ける患者の看護について説明する。 (薬物療法 透析療法)	配布資料 パワーポイント	
第 14 回 〔講義〕 (日野)	到達目標	内科的治療を受ける患者の看護について理解する。 泌尿器科的治療を受ける患者の看護について理解する。	テキスト③	
	授業予定	腎疾患を持つ患者の看護について説明する。 (I g A腎症 糖尿病性腎症 ネフローゼ症候群 腎硬化症 アミロイド腎症 炎症性疾患 多発性嚢胞 性腎不全 慢性腎不全) 泌尿器科的治療：処置(導尿 カテーテル留置) 手術 療法・薬物療法・放射線療法 腎移植 性・生殖機能障 害のある患者の看護について説明する。	配布資料 パワーポイント	
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準：履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法：終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔2〕呼吸器：医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕循環器：医学書院 e テキスト ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔8〕腎・泌尿器：医学書院 e テキスト		
	参考図書			
	その他	配布資料、パワーポイント		
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおくこと。		
履修上の留意点				

科目区分	専門分野	科目名	成人看護方法論Ⅱ	単 位	1単位
対象学年	2学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	①鈴木 結香 ②坂本 律子 ③岩井中良子 ④阿部 智美	実務経験 関連資格	①国立病院機構別府医療センター 看護師 ②九州大学病院別府病院 看護師 ③九州大学病院別府病院 看護師 ④九州大学病院別府病院 看護師・看護師長		
目的	消化器疾患、内分泌・代謝疾患、アレルギー膠原病疾患の様々な機能障害が、日常生活に及ぼす影響を理解し、各機能障害を持つ患者の看護を実践できる基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。				
目 標	1. 主な症状とその看護について理解する。 2. 主な検査と治療を受ける患者の看護について理解する。 3. 機能障害をもちながら生活する人の看護について理解する。				DPへの対応 DP2 DP3 DP4 DP6
授業回数 〔方法〕	内 容			使用教材	授業に関する 準 備 学 習
第 1 回 〔講義〕 (鈴木)	到達目標	主な消化器疾患の看護について理解する		テキスト① 配布資料 パワーポイント	教科書の指定部分 を 事 前 に 読 ん で お く こと。 講義内容を必ず復 習しておくこと。
	授業予定	ガイダンス 呼吸器疾患を持つ患者の経過と看護について説明する。			
第 2 回 〔講義〕 (鈴木)	到達目標	主な消化器症状における看護について理解する。		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業内容	様々な症状に対する看護を説明する 嚥下困難 おくび・胸やけ 吐き気・嘔吐 腹痛 吐血・下血 下痢 便秘 腹部膨満 食欲不振と体重減少 黄疸 肝性脳症			
第 3 回 〔講義〕 (鈴木)	到達目標	消化器疾患における様々な検査や治療時の看護を理解する。		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	検査・治療を受ける患者の看護を説明する 検査：腹部超音波検査 CT・MRI 肝生検 内視鏡検査 造影検査 治療：薬物療法 化学療法 栄養療法・食事療法 手術療法 胃瘻・空腸瘻 放射線療法			
第 4 回 〔講義〕 (鈴木)	到達目標	主な消化器疾患の看護について理解する		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	消化器疾患を持つ患者の看護を説明する 食道疾患 胃・十二指腸疾患 腸・腹膜疾患			
第 5 回 〔講義〕 (鈴木)	到達目標	主な消化器疾患の看護について理解する		テキスト① 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	肝臓・胆嚢疾患 膵臓疾患			
第 6 回 〔講義〕 (坂本)	到達目標	主な内分泌・代謝疾患の看護について理解する		テキスト② 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	ガイダンス 内分泌・代謝疾患を持つ患者の経過と看護について説明する			
第 7 回 〔講義〕 (坂本)	到達目標	内分泌疾患患者に看護について理解する。		テキスト② 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	内分泌疾患に対する検査を受ける患者の看護について説明する。 下垂体疾患患者の看護 甲状腺疾患患者の看護			
第 8 回 〔講義〕 (坂本)	到達目標	内分泌疾患の看護について理解する。		テキスト② 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	内分泌疾患の看護について説明する。 副甲状腺疾患患者の看護 副腎疾患患者の看護			
第 9 回 〔講義〕	到達目標	代謝疾患患者に看護について理解する。		テキスト② 配布資料	
	授業予定	代謝疾患の看護について説明する。			

(坂本)		糖尿病患者の看護 脂質異常症患者の看護 尿酸代謝異常患者の看護	パワーポイント	
第10回 〔講義〕 (岩井中)	到達目標	アレルギー・感染症疾患の看護について理解する。	テキスト③ 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	ガイダンス アレルギー・感染症の看護について説明する。 <アレルギー> 疾患の経過と看護 症状に対する看護(呼吸器症状 消化器症状など) 治療を受ける患者の看護 疾患を持つ患者の看護(気管支喘息 アレルギー性鼻炎 アトピー性皮膚炎など) <感染症>感染予防症状に対する看護(発熱 発疹 下痢) 検査・治療における看護 疾患を持つ患者の看護(HIV/AIDS 敗血症 日和見感染など)		
第11回 〔講義〕 (岩井中)	到達目標	膠原病疾患の看護について理解する。	テキスト③ 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	膠原病疾患の経過と看護について説明する。 症状に対する看護 (発熱 関節症状 皮膚・粘膜症状など) 検査・治療を受ける患者の看護		
第12回 〔講義〕 (岩井中)	到達目標	膠原病疾患の看護について理解する。	テキスト③ 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	膠原病疾患の看護について説明する 関節リウマチ 全身性エリテマトーデス 全身性強皮症 多発性筋炎 シュエーグレン症候群 ベーチェット病		
第13回 〔講義〕 (阿部)	到達目標	血液・造血管疾患の看護について理解する	テキスト④ 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	ガイダンス 血液・造血管疾患の経過と看護について説明する 症状に対する看護(貧血 出血傾向 易感染)		
第14回 〔講義〕 (阿部)	到達目標	血液・造血管疾患の様々な検査を受ける患者の看護について理解する。	テキスト④ 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	様々な検査を受ける患者の看護について説明する。 治療方針決定と治療のプロセスにおける検査 造血管腫瘍患者の看護 (意思決定支援 がん薬物療法 放射線療法 造血幹細胞移植 輸血 白血病・悪性リンパ腫など)		
第15回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第28条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕消化器:医学書院 eテキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔6〕内分泌・代謝:医学書院 eテキスト ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔11〕アレルギー・膠原病・感染症:医学書院 eテキスト ④系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔4〕血液造血管器:医学書院 eテキスト		
	参考図書			
	その他	配布資料、パワーポイント		
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおくこと。		
履修上の留意点				

科目区分	専門分野	科目名	成人看護方法論Ⅲ	単 位	1単位
対象学年	2学年	学 期	前期	時 間	30時間
担当教員	①野尻 采香 ②中村 香那 ③松丸 陽子 ④田原 桃花	実務経験 関連資格	①国立病院機構別府医療センター 看護師 ②国立病院機構別府医療センター 看護師 ③国立病院機構別府医療センター 助産師 ④国立病院機構別府医療センター 看護師		
目的	脳神経疾患、運動器疾患、女性生殖器疾患、皮膚疾患の様々な機能障害が、日常生活に及ぼす影響を理解し、各機能障害を持つ患者の看護を実践できる基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。				
目 標	1. 主な症状とその看護について理解する。 2. 主な検査と治療を受ける患者の看護について理解する。 3. 機能障害をもちながら生活する人の看護について理解する。				DPへの対応 DP2 DP3 DP4 DP6
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕 (講師①)	到達目標	脳・神経疾患における看護について理解する。	テキスト① 配布資料 パワーポイント	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。	
	授業予定	ガイダンス 脳・神経疾患の経過と看護について説明する。			
第 2 回 〔講義〕 (講師①)	到達目標	脳・神経疾患の主な症状における看護について理解する。	テキスト① 配布資料 パワーポイント		
	授業内容	脳・神経疾患の症状に対する看護について説明する (意識障害 言語障害 認知症 運動麻痺など)			
第 3 回 〔講義〕 (講師①)	到達目標	脳・神経疾患のさまざまな治療や処置を受ける患者の看護について理解する。	テキスト① 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	脳・神経疾患のさまざまな治療や処置を受ける患者の看護について説明する。 開頭手術 薬物療法 化学療法・放射線療法			
第 4 回 〔講義〕 (講師①)	到達目標	主な脳・神経疾患の看護について理解する。	テキスト① 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	主な脳・神経疾患の看護について説明する。 くも膜下出血 脳梗塞 脳腫瘍 下垂体腺腫 頭部外傷			
第 5 回 〔講義〕 (講師①)	到達目標	主な脳・神経疾患の看護について理解する。	テキスト① パワーポイント		
	授業予定	主な脳・神経疾患の看護について説明する。 筋ジストロフィー 重症筋無力症 多発性硬化症 パーキンソン病 筋委縮性側索硬化症 髄膜炎			
第 6 回 〔講義〕 (講師②)	到達目標	運動器疾患の看護について理解する。	テキスト② テキスト② 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	ガイダンス 運動器疾患を持つ患者の経過と看護について説明する			
第 7 回 〔講義〕 (講師②)	到達目標	主な運動器疾患の症状における看護について理解する。	テキスト② 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	援助のためのおもな知識と技術について説明する。 身体機能評価 ADLの評価 基本肢位・良肢位と廃用症候群の予防など 症状に対する看護について説明する。 疼痛 循環・神経障害 出血性ショック 感染管理			
第 8 回 〔講義〕 (講師②)	到達目標	運動器疾患のさまざまな検査・治療を受ける患者の看護を理解する。	テキスト② 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	検査・診断(画像検査)・治療(保存療法 手術療法)を受ける患者の看護について説明する。			
第 9 回	到達目標	主な疾患の看護について説明することができる		テキスト②	

〔講義〕 〔講師②〕	授業予定	大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折 腰痛 脊髄損傷 骨腫瘍 関節リウマチ	配布資料 パワーポイント	
第 10 回 〔講義〕 〔講師③〕	到達目標	女性生殖器の看護における看護師について理解する。主要 症状に対する看護を説明できる	テキスト③ テキスト③	
	授業予定	ガイダンス 女性生殖器疾患を持つ患者の経過と看護について説明する 症状に対する看護 (ショック状態 性器出血 帯下・痒痒感 疼痛など)	配布資料 パワーポイント	
第 11 回 〔講義〕 〔講師③〕	到達目標	主な女性生殖器疾患の看護について理解する。	テキスト③	
	授業予定	女性生殖器疾患の看護について説明する。 外陰部疾患 膣疾患 子宮疾患 卵管疾患 卵巣疾患 骨盤腔内疾患 乳房疾患	配布資料 パワーポイント	
第 12 回 〔講義〕 〔講師③〕	到達目標	主な女性生殖器疾患の看護について理解する。	テキスト③	
	授業予定	女性生殖器疾患の看護について説明する。 月経異常・月経随伴症状 不妊症 不育症 高齢女性におこりやすい女性生殖器疾患	配布資料 パワーポイント	
第 13 回 〔講義〕 〔講師④〕	到達目標	皮膚疾患の看護について理解する。	テキスト④	
	授業予定	ガイダンス 皮膚科疾患を持つ患者の経過と看護について説明する。 症状に対する看護(痒痒 疼痛 鱗屑・落屑など) 検査・治療・処置を受ける患者の看護 手術を受ける患者 の看護	テキスト④ テキスト④ 配布資料 パワーポイント	
第 14 回 〔講義〕 〔講師④〕	到達目標	皮膚科疾患の看護について理解する。	テキスト④	
	授業予定	検査・治療・処置を受ける患者の看護について説明する。 疾患を持つ患者の看護(アトピー性皮膚炎 尋常性乾癬 難治性潰瘍など)	配布資料 パワーポイント	
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 100%、60%未満は再試験とする。		
使用教材	テキスト	①系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔7〕脳・神経:医学書院 eテキスト ②系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔10〕運動器:医学書院 eテキスト ③系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔9〕女性生殖器:医学書院 eテキスト ④系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔12〕皮膚:医学書院 eテキスト		
	参考図書	病気がみえる 婦人科・乳腺外科:メディックメディア		
	その他	配布資料、パワーポイント		
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおくこと。		
履修上の留意点				

科目区分	専門分野	科目名	成人看護方法論Ⅳ	単 位	1単位
対象学年	2学年	学 期	後期	時 間	30時間
担当教員	①竹村 陽子 ②泉 雄大 ③安部 三枝子	実務経験 関連資格	①大分赤十字病院 看護師・がん看護専門看護師 ②国立病院機構別府医療センター 看護師 ③病院における看護師経験・別府市医師会立別府青山看護学校 専任教員		
目 的	眼耳鼻疾患、歯科口腔疾患、がん疾患における様々な機能障害が、日常生活に及ぼす影響を理解し、各機能障害を持つ患者の看護を実践できる基礎的な知識・技術・態度を学ぶ。 成人の自立・自律性を活かし、多様な健康状態・障害に対するアセスメント力、看護展開の基礎的能力を学習する。				
目 標	1. 主な症状とその看護について理解する。 2. 主な検査と治療を受ける患者の看護について理解する。 3. 機能障害をもちながら生活する人の看護について理解する。				DPへの対応 DP2 DP3 DP4 DP6
授業回数 〔方法〕	内 容		使用教材	授業に関する 準 備 学 習	
第 1 回 〔講義〕 (泉)	到達目標	眼科疾患の看護について理解する。 眼科疾患患者の看護について説明できる	テキスト① 配布資料 パワーポイント	教科書の指定部分を事前に読んでおくこと。・講義内容や練習問題を復習しておくこと。	
	授業予定	ガイダンス 眼科疾患を持つ患者の経過と看護について説明する。 症状に対する看護（視力障害 視野障害 充血 流涙など）			
第 2 回 〔講義〕 (泉)	到達目標	眼科疾患患者の看護について理解する。	テキスト① 配布資料 パワーポイント		
	授業内容	診察・検査・治療・処置を受ける患者の看護について説明する。手術を受ける患者の看護 疾患を持つ患者の看護（白内障 緑内障 網膜剥離など）			
第 3 回 〔講義〕 (泉)	到達目標	耳鼻科疾患の看護について理解する。	テキスト② 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	ガイダンス 耳鼻科疾患を持つ患者の経過と看護を説明する 症状に対する看護（耳痛・耳漏 耳鳴 めまいなど）			
第 4 回 〔講義〕 (泉)	到達目標	耳鼻科疾患の看護について理解する。	テキスト② 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	検査・治療・処置を受ける患者の看護について説明する 手術を受ける患者の看護 疾患を持つ患者の看護（難聴 慢性中耳炎 メニエール病など）			
第 5 回 〔講義〕 (泉)	到達目標	口腔・咽喉疾患の看護について理解する。	テキスト③ 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	ガイダンス 口腔疾患の看護について説明する。 （口腔症状 顎口腔機能障害） 治療・処置を受ける患者の看護（診療の準備・介助 保存療法 補綴治療 矯正歯科治療 小児・高齢者の看護） 疾患を持つ患者の看護（口腔がん 顎変形症 唇顎口蓋裂 顎嚢胞）			
第 6 回 〔講義〕 (竹村)	到達目標	がん医療の現状と看護について理解する。	テキスト④ 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	がんを取り巻く状況について説明する。 がんの疫学とリスク要因について説明する。 がんの予防と早期発見について説明する。 エビデンスと看護実践について説明する。 倫理的課題と対応について説明する。			
第 7 回 〔講義〕 (竹村)	到達目標	がん患者の看護について理解する。	テキスト④ 配布資料 パワーポイント		
	授業予定	がん看護の対象と場について説明する。 がん患者の苦痛のマネジメントについて説明する。			

		がん患者に対する心理的・社会的サポートについて説明する。		
第 8 回 〔講義〕 (竹村)	到達目標	がん治療の看護について理解する。	テキスト④ 配布資料 パワーポイント	
	授業予定	がん治療における看護の重要性について説明する。 がん治療における看護について説明する。 がん患者の療養支援について説明する。		
第 9 回 〔講義〕 (川野)	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料 パワーポイント	ゴードンの看護アセスメントの視点を復習しておく。
	授業予定	事例展開について説明する (情報収集・アセスメントの視点)		
第 10 回 〔講義〕 (川野)	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料 パワーポイント	
	授業予定	事例展開について説明する (アセスメントの実際)		
第 11 回 〔講義〕 (川野)	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料 パワーポイント	
	授業予定	事例展開について説明する (アセスメントの実際)		
第 12 回 〔講義〕 (川野)	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料 パワーポイント	
	授業予定	事例展開について説明する (関連図)		
第 13 回 〔講義〕 (川野)	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料 パワーポイント	
	授業予定	事例展開について説明する (看護計画立案)		
第 14 回 〔講義〕 (川野)	到達目標	事例において 看護過程の展開を理解する。	配布資料 パワーポイント	
	授業予定	事例展開について説明する (看護計画実施・評価)		
第 15 回		まとめ 終講試験(50分)		
成績評価の基準と方法		基準 : 履修規程第 28 条に規定する評価基準に準ずる。 方法 : 終講筆記試験 80%、レポート 20%、計 60%未満は再試験とする。配点の内訳は、眼科・耳鼻科・口腔疾患の看護が 30% (筆記試験)、がん看護が 20% (筆記試験)、看護過程 50% (筆記試験 30%、課題レポート 20%) である。		
使用教材	テキスト	①系統看護学講座 成人看護学〔13〕眼：医学書院 e テキスト ②系統看護学講座 成人看護学〔14〕耳鼻咽喉：医学書院 e テキスト ③系統看護学講座 成人看護学〔15〕歯・口腔：医学書院 e テキスト ④系統看護学講座 別巻 がん看護学：医学書院 e テキスト		
	参考図書			
	その他	配布資料、パワーポイント		
授業以外の学習方法		指定した教科書を事前に読んでおくこと。		
履修上の留意点				

